

# 都市のORスプリングセミナー2005

The 2005 spring seminar of the urban operations and research

最終更新日：2005年4月15日

多数の方にご参加頂き、ありがとうございました。  
皆様のおかげで大盛況になりました。

## 開催案内

日時：2005年4月23日（土）12:30～18:00

会場：中央大学 後楽園キャンパス 3号館3階 3300号室

[後楽園キャンパスへのアクセス](#)

[後楽園キャンパスマップ](#)

プログラム(発表：12分, 質疑応答：3分)

順番	発表時間	氏名	所属	発表題目
<b>開会の挨拶（鳥海 重喜（中央大学））</b>				
<b>都市解析（座長：小林 隆史（筑波大学））</b>				
1	12:35～12:50	杉浦 淳徳	サレジオ工業高等専門学校	Kriging法を用いた土地価格の推定と空間分析
2	12:50～13:05	池田 幹朗	慶應義塾大学	博物館の集客力分析--千葉県内博物館データへのハフモデルの適用--
3	13:05～13:20	松本 雄介	中央大学	Morse理論を用いた標高データ量圧縮
4	13:20～13:35	広瀬 陽太郎	慶應義塾大学	データ張り合わせ法の適用による地域別犯罪データの分析
<b>休憩（10分）</b>				
<b>交通とOR（座長：鶴飼 孝盛（慶應義塾大学））</b>				

5	13:45~14:00	菅野 厚	筑波大学	利用者間公平性に着目した鉄道運賃と競合区間割引
6	14:00~14:15	川口 真由	中央大学	均衡配分を用いた少子高齢化による鉄道利用変化予測
7	14:15~14:30	井田 尚憲	慶應義塾大学	ハフモデルを用いた九州地方の新幹線開通による影響分析
8	14:30~14:45	佐々木 翔一	筑波大学	ナンバープレート調査を用いた自動車の越境利用量の推定と分析
9	14:45~15:00	石井 裕	中央大学	積載量の均衡配分による海上運搬の港混雑分析
<b>休憩 (15分)</b>				
<b>さまざまなOR (座長 : 田中 健一 (東京理科大学) )</b>				
10	15:15~15:30	小池 光太郎	中央大学	マルコフモデルを用いたフットサルの試合分析
11	15:30~15:45	森田 健吾	慶應義塾大学	希少品の評価に関する数理モデル--コレクターズアイテムの評価額推定式--
12	15:45~16:00	切田 元	筑波大学	ハーフミラー壁面による空の反射量の分析
13	16:00~16:15	鳥山 和人	筑波大学	地震時における住民による効果的なバケツリレーに関する研究
14	16:15~16:30	鈴木 翔一郎	慶應義塾大学	効果の遅れを考慮した差分方程式モデルによる成長現象の解明
15	16:30~16:45	原 俊太郎	慶應義塾大学	購買意欲と世帯数の変化に注目した生活必需品の普及現象に関する微分方程式モデル
<b>休憩 (10分)</b>				
<b>都市とOR (座長 : 渡部 大輔 (筑波大学) )</b>				
16	16:55~17:10	松本 立子	筑波大学	移動距離に着目した夜間小児医療施設配置
17	17:10~17:25	実方 光史	慶應義塾大学	介在機会モデルを用いた一次元線分都市における競合的施設配置モデル
18	17:25~17:40	圓地 隆之	中央大学	鉄道ネットワークを用いた職住分布の同時形成モデルの構築
19	17:40~17:55	鈴木 良一	慶應義塾大学	重力モデルおよび非集計ロジットモデルによる移住の分析

閉会の挨拶（田口 東 先生（中央大学））

懇親会

日時： 2005年4月23日（土） 18:30 ～ 20:30

場所： 未定

参加費： 3500円（あくまでも予定です）

---